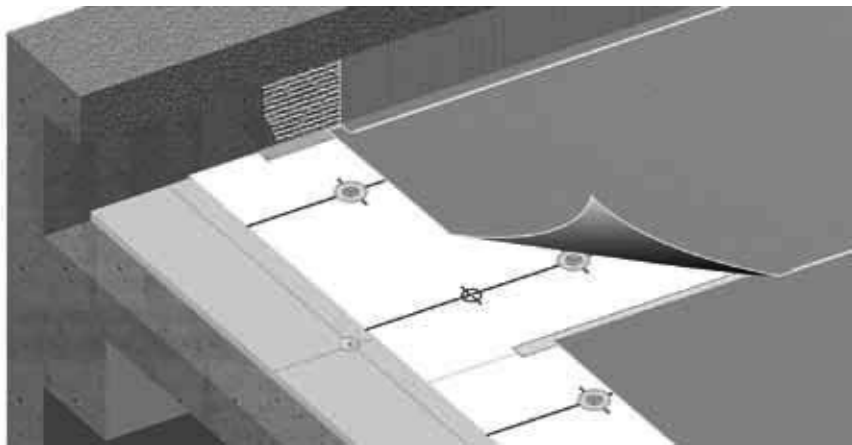


# 5 断熱機械的固定工法 施工の流れ



断熱材：スタイロフォームRB-GK-II  
(ポリスチレンフォーム)

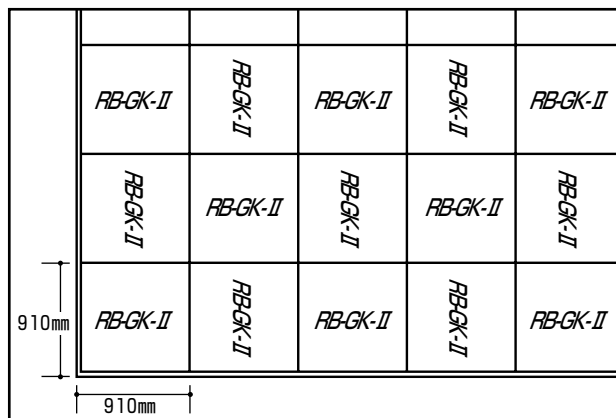
仕様番号 **VIT-815R免振**  
**VIT-820R 等**

適用  
下地 コンクリート  
プレキャストコンクリート

## 1 スタイロフォームの敷き込み

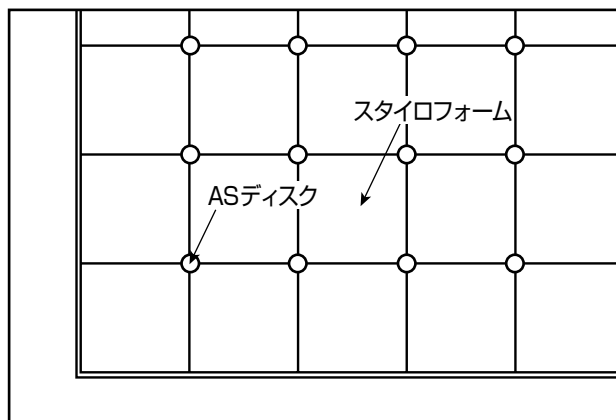
☆ フォームの方向を1枚ごとに縦横交互に敷き込みます。

※ 断熱材の寸法変化を緩衝するために縦・横交互にします。



## 2 スタイロフォームの固定

☆ フォームの交点をASディスクとUPアンカー (又はPLアンカー) で固定します。  
アンカーの施工方法 P16-P18参照

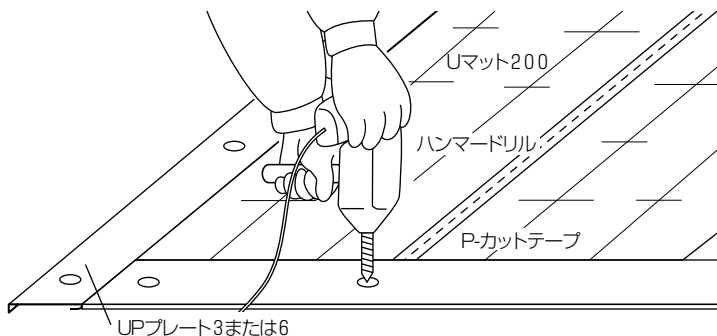


## 3 Uマットの敷き込み P13参照

☆ フォーム上の全面へUマットを敷き込みます。  
Uマットの方向はシートの貼り方向へ合わせます。

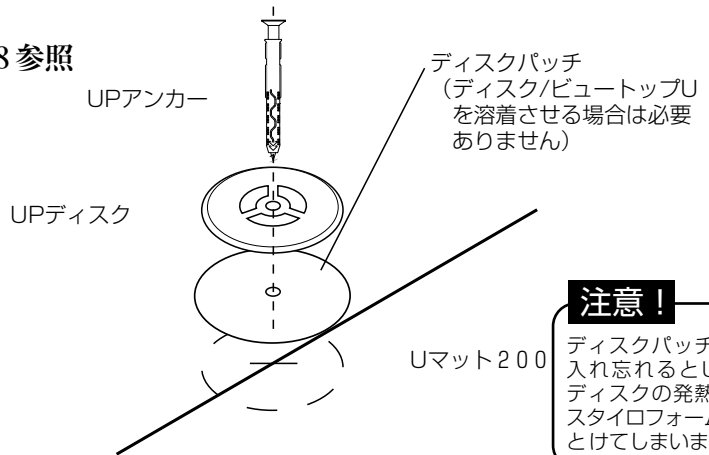
## 4 プレートの固定 P15参照

☆ 立上がり周辺部および役物廻りにUマット上からプレートをUPアンカー (又はPLアンカー) で固定します。



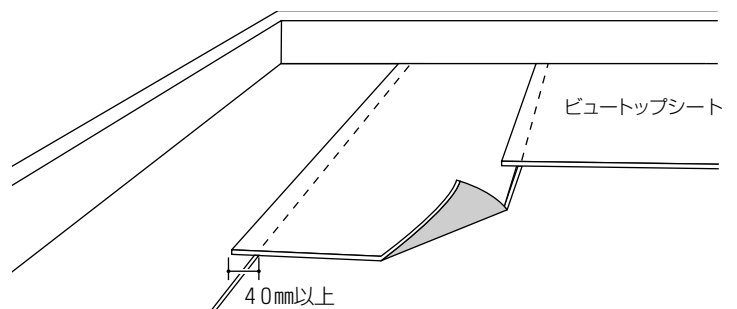
## 5 UPディスクの取り付け P16-P18参照

- ☆ UPディスクをUPアンカー (又はPLアンカー) で固定します。
- ※ ディスクとビュートップシートを誘導加熱により融着させる場合は、ディスクパッチをディスクの下に入れます。
- ※ UPディスク類の取り付け位置がASディスクの位置と重なる場合は、UPディスクの位置を100mm程度ずらして固定します。



## 6 ビュートップシートの仮敷き P19参照

- ☆ Uマットの方向に合わせてシートを仮敷きします。(クロス貼りをしない)
- ☆ シートのサイドラップは45mm程度になるようにします。(40mm以上)

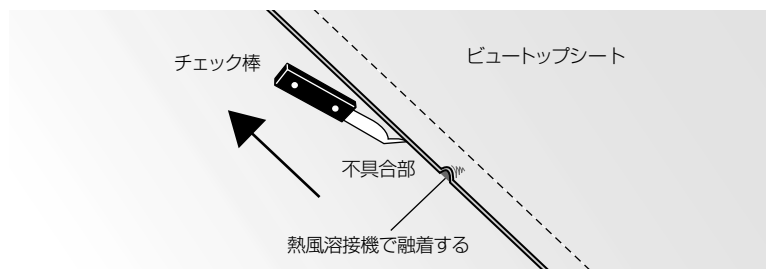


## 7 ディスクとビュートップシートの誘導加熱処理 ディスクとビュートップシートの溶着処理方法

P20、P22、P41参照

## 8 シートラップ部のUシール処理 P60参照

- ☆ Uシールを塗布する前に、チェック棒でラップの口開きがないか必ずチェックします。不具合部分は熱風溶接機を用いて確実に熱融着させます。
- ☆ ラップの口開きがないことを確認してから、全てのラップ部にUシールを十分に塗布します。



### <ドレン廻りの納まり例>

注) ドレン廻り等で、ポリスチレンフォームの断面部などが露出しないよう、Uマットで必ずカバーしてください。

